

ジャーナル

アメリカからの留学生来校

アメリカコロラド州ミッチェル高校より短期留学生が来校しました。

一昨年、本校生徒が短期留学の際、お世話になった現地ホストファミリー宅の高校3年生、ブランディさんがこの度来校しました。彼女は一週間ずつ3名の本校生宅にホームステイをし小国高校での生活を送りました。



小国高校の制服を着用し、ホストクラスで授業を受けました。また、体育祭、学校林の下刈りなども体験し、調理実習や書道や茶道にもチャレンジしました。



約3週間（6月6日～26日）という短い留学期間でしたが、それぞれホストファミリーやホストクラスとの楽しい時間を過ごし、26日に成田空港より帰国しました。

生徒の声が新聞に掲載 3

修理リメイク立派な「エコ」との題で山形新聞夕刊付
投書欄に渡部美佳（3年2組）の文章が掲載されました。

若者の声

小国高

修理リメイク 立派な「エコ」

3年 渡部美佳

私は先日、ドライヤーを床に落とし壊してしまった。朝だったので時間がなく、壊れたことを親に告げずに学校に行った。

だがその日の夜、壊れたはずのドライヤーにはゼロハンテープが張られてあり、また使えるようになっていた。すぐに父が修理してくれたことに気がついた。

父は修理したりリメイクするのが得意だ。つい最近も祖母の知り合いが引っ越しの際に処分するという棚を引き取ってきた。その棚は作られてから100年以上もたつて

ても古いもので、汚れや傷も多く塗装もはがれていた。

父はそれをリメイクし、まるで新品の棚のように生まれ変わらせた。今その棚はリビングに置かれ、棚としての役割をまた果たすことになった。

私は壊れてしまったものや不要になったものはすぐに捨ててしまい、新しいものを買えばいいと思っていた。しかし、愛着のあるドライヤーがまだ使えるようになったのはうれしかったし、捨てられるはずの古い棚がまた命を吹き返すことも素晴らしいと思った。修理やリメイクをしてまた使うことも、すてきな「エコ活動」だと感じることができた。

5月20日付 山形新聞

（掲載許諾済）

学校祭のご案内

今年度は 【 煌（きらめき） ～Overflowing individuality（溢れる個性）～ 】

とのテーマで下記のように学校祭を実施いたします。

* 日 時 7月24日（土）

* 公開時間 8:50～15:15

生徒会執行部・学校行事運営委員会を中心に、今年も趣向を凝らした展示や発表を企画しています。また今年度はPTAも企画に参加する予定です。当日は、一般の方にも公開いたします。多くの方のご来校を心よりお待ちしております。

校内印刷でしかも白黒のため不鮮明な部分もありますがご容赦ください。